

子どものまち・いのまき 10月4日(土)、5日(日)の2日間 @石巻市中央 寿町通り界隈

石巻の未来をつくっていく子どもたちが、まちの仕組みを学び、まちに親しむことで、自分たちのまちに誇りを持ち、まちに積極的に参加していくためのきっかけになることを目指しています。子どもの参画により震災復興まちづくり活動の一環として位置づけ、まちの中のコミュニティスペースや空き地、道などをお借りして開催しました。5日には、子どもも大人もいっしょに「みち」で遊べる、1日限定の「ストリートパーティー」も同時開催。ユニセフが支援したプレイカー(写真右下)や、プレイトラック等を集結して道遊び・まち遊びを行いました。

ユニセフのブースでは、子どもたちがパソコンでインターネット上に「絵」を描きました。Tap Water Relay ~「マダガスカルへ、きれいな水を届けよう!」バケツリレーの絵を描くことで募金につながるユニセフの募金活動です。多くの子どもたちが挑戦してくれました。マウスを上手に使う子どもたちに感心しました。描いた絵をプリントしてプレゼント。ボランティアしてくれた子どもたち、ありがとう!



UNICafe~気軽なユニセフ入門講座 & STAND UP TAKE ACTION

10月11日(土)、みやぎ生協文化会館ウイズで開催し、6名が新規に参加し、2名の方がボランティアに登録してくださいました。自己紹介では、「関心のある国・行ってみたい国」を発表し、クロアチアや北朝鮮などさまざまな国が出されました。「1枚の看板」ワークショップでわ・い・わ・い!では、支援するとはどんなこと?を考えて

みました。講座終了後に、「貧困をなくそう」Stand Up Take Actionに協力しました。ウェブサイトから写真を投稿し、意思を表す方法です。投稿した写真です。



ユニセフ・キャラバン・キャンペーン 10/23~24

日本の子どもたちに世界の子どもたちが置かれている状況やユニセフの活動への理解を深めていただくため、1979年の国際児童年にスタート。宮城県への訪問は9回目を迎えました。県知事・教育長を表敬訪問。メッセージ交換を通じて、ユニセフへの支援に感謝の意を表すとともに、さらなるご協力とご支援をお願いしました。教職員対象の研修会、小中学校での学習会(石巻市立大街道小、門脇中)を実施しました。



今年度より、東北の生協が取り組む「指定募金先」が「東ティモール」になりました

10月26日から11月2日まで、ユニセフ・東ティモール・スタディツアーが実施中で、宮城からは、みやぎ生協理事の薄木芳美さんが参加しています。「赤ちゃんとお母さんのためのコミュニティ保健ケア改善のプロジェクト」に対しての募金です。出産時の死亡をなくす、母乳育児の推進、栄養指導などを含む支援事業です。現在置かれている状況を視察しています。その報告会を1月14日(水)午前、フォレスト仙台2階会議室にて開催します。「タイス(現地の織物)バザー」も予定しています。



宮城県ユニセフ協会 〒981-3194 仙台市泉区八乙女4-2-2 みやぎ生協ウイズ1F

Tel 022-218-5358 Fax 022-218-5945 E-mail sn.municef_miyagi@todock.jp

新しい情報はホームページが便利です <http://www.unicef-miyagi.gr.jp>

事務所:月曜日~金曜日

10:00~17:00

上記以外 080-5849-6072(五十嵐栄子)